

公益社団法人 福岡県理学療法士会

令和2年度 第3回理事会議事録

日 時：令和2年8月22日（土）15：00～18：00

場 所：Web 会議

出席者：（理事）西浦 健蔵、廣滋 恵一、松崎 哲治、諫武 稔、近藤 直樹、宇戸 友樹、吉田 純一、久保田勝徳、山口 寿、佐藤 憲明、高橋 博愛、熊谷 謙一、松垣 竜太郎、中村 雅隆、久原 聡志、平原 寛隆、加藤 正和、時吉 直祐、永野 忍、岩佐 聖彦、山内 康太、遠藤 正英、福田 輝和、今村 純平、志田 啓太郎

（監事）森田 正治、日野 敏明、田中 裕二

（選挙管理委員）秋 達也、河原 秀光

（事務員）中山 祥子、永友沙也佳

（書記）池永千寿子

議長は、西浦健蔵会長がつとめ、会長、監事により議事録に署名することを確認した。

【審議事項】

【総務局】

【法人事業】

〔総務部〕

1. 県士会データ取扱規程について

前回の理事会で草案を提示させていただいた結果、1) データ保管方法について、2) オーサiershipについてご意見をいただいている。2) は依頼事項に記載。

- 1) に関しては「県士会事務所にて専用の PC を設置する、データの保管に関しては担当局長が責任をもってデータを管理する。直接PC 入力もしくはUSB メモリー（ロック機能付き）などの媒体を郵送（書留またはレターパック）などで事務所へ送付。」とした。

→承認

県士会データ取扱規程は継続審議：クラウド利用で管理が可能なか確認すること。

紙ベースの保管について再検討。

主な意見)

- ・データは用紙を送るのか、データを入力した状態で送るのか？
→データ入力は担当支部で行い、事務所職員の仕事にできない
- ・担当局長にデータを集めるのか？
→学術部マニュアルに合わせてそのように考えた。
- ・現在、学会に関する承認は行っているが、データは局長に経由せず扱っている。責任者は理事ではだめなのか。
→責任者は局長とさせていただきたい。局長の責任で任命し、データを入力する責任者を明確に管理して、統括していただきたいと考えている
- ・アンケートも該当するのか、毎回事務所へUSB の郵送を依頼するのか。
→そのとおりである。ロック付きのUSB のやり取りで、事務所職員は郵送と PC へUSB から入力する作業のみと考えている。
- ・USB ではなくクラウドではできないのか？
→データのセキュリティの問題かと思う。ネット環境に置かないための対策ではないか、USB のやり取りは郵送なので両方にデメリットはある。
クラウドの契約を行って、共有できる人を制限してはどうか
- ・同意書の管理に関しても再検討してほしい。鍵のかかる場所について詳細に記載をお願いしたい。

【学術局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[学術局]

1. オンライン研修会ガイドラインについて

オンライン研修会開催に伴うガイドラインおよび研修会開催方法について確認頂きたい。
2020年度県士会事業でオンラインによる研修会開催準備を行っていく予定としている。

●運用パターンについて5種類

パターン	具体的な方法例	研修会(入退出の管理をするもの)			
		C単位(新人教育プログラム)			
		講師	司会者(運営委員)	参加者	参加申込
A-1	ライブ配信 (直接質問可能)	自宅または 配信会場	自宅または 配信会場	自宅	協会システム
A-2	ライブ配信 (Q&Aで質問)	自宅または 配信会場	自宅または 配信会場	自宅	協会システム
B-1	ハイブリット配信	自宅または 配信会場録画	自宅または 配信会場	自宅	協会システム
B-2	オンデマンド配信	自宅または 配信会場録画	自宅または 配信会場	自宅	協会システム
C	ライブ配信+ 直接来場者あり	自宅または 配信会場	自宅または 配信会場	自宅または 研修会会場	協会システム

質問についてA-1：手を挙げて質問、2：Q&A システムに質問を書き込む。

出席管理についてB-1, 2：レポート提出

●履修単位・履修ポイント付与の登録について

協会より「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う学会・研修会等の開催形式の変更に伴う 履修単位・履修ポイント付与の登録について」の資料が配布された。

【参加ポイントの要件】参加の確認ができること。双方向による質疑応答等の疎通が可能であること。

【発表ポイントの要件】双方向による質疑応答等の疎通が可能であること。

●ガイドライン（一部抜粋）

IV. 著作権

1. 講演資料について

研修会資料作成にあつては著作権に十分注意する。出版社などへの確認は作成者（講師など）の責任となることを共有する。

2. オンライン研修会の著作権について

提供されるオンライン研修会にかかる映像、画像、テキスト、音声又は関連資料等のコンテンツの全部又は一部（以下「本コンテンツ」といいます。）に関する著作権は、講演者、福岡県理学療法士会、その他の著作権者（以下総称して「著作権者」といいます。）に帰属する。

→継続審議

主な意見

・双方向の意見交換とは、必ず参加者は1つ以上の質問をするということか？流しっぱなしでポイントを付与する場合の管理は難しいので今年度はポイント付与にこだわらず進めてはどうか。

→協会からの資料では「双方向の意見交換ができる状況」ということが条件となっている。

新人プログラムのCの単位が取れるように準備を進めている。将来的にはポイントを取得できるように考えたい。

→Cの単位については、まずは協会のe-learningの広報をしっかり行ってはどうか。

- ・受講時間の2/3を受講する事となっているが、協会のマニュアルではオンラインで1分でも入出が遅れたらポイントが付与しないとなっているので合わせてみてはどうか。

→受講者の電波状況の問題もある。そのため、しっかり記載して注意喚起をするように対策を講じたい。

- ・著作権について、出版社などへの確認は作成者（講師など）の責任となっているが、普段の研修会では確認していないのではないかと。通常では出典の確認程度である。日本理学療法士協会での動画作成でも同様であった。福岡県士会として厳しく依頼していくのか。

→学術局マニュアルに動画や講師に関するマニュアルに記載していく予定である

→参加者側のルールについてしっかり記載してはどうか。

→Web開催となるからの著作権の話ではない。ただし、対面式であっても動画や写真をこっそりと撮影される方がいる。

→個人のPCになると制限できないので、数人で集まるという手段はどうか。講師側に、会員に注意喚起しているがこっそり録画されている可能性について説明するか、個人で視聴できないようにする方法はどうか。

- ・運営委員による出席とはどういうことか。

→事前予約の出席簿と実際の出席者の管理、および退出時の管理を行う。

- ・1回の研修会の参加者についてどう考えているか

→人数制限については検討中。また各研修会で検討していただくことになるかと考える。

ポイント付与についてはマイページ登録になると考える。その権利についてやや管理が曖昧になると考える。とくに他県士会の場合、参加者のチェックはかなり曖昧になりそう。例えば、県外会員と県内会員で参加費用を変更するなど検討してはどうか。

方針)

- ・今年度はポイントが付与しない研修会を優先的に進める方針とする。

管理の難しさ、多くの参加者の顔や名前を確認することは難しい。まずは単位のない研修会を先行し、方法が確立してからポイント付与について検討する。また方法論について支部、学術局など関連部署で協議する。

→Cの単位に関しては管理が必要。

→10月の理事会以降にポイント付与の講習会を提案してください。

- ・下半期の事業をWeb配信で実施していく方針。会員に下半期事業の情報提示を進める。10月の理事会を待たずに、準備ができ次第配信。月間レベルで、Fax通信やHPなどを用いて流していく。

- ・著作権については、会員への注意喚起を十分に行う方針とする。

●講師謝金について

- ・講師謝金について、これまでの謝金に10,000円上乗せ。

ライブ型研修会：医師 60,000円/90分 理学療法士・その他の職種 40,000円/90分

コンテンツ配信型、ハイブリット型：医師 60,000円/1コンテンツ（60分） 理学療法士・その他職種 40,000円/1コンテンツ（60分）

コンテンツ時間が変更になる際は、上記金額より算定する。

- ・交通費用

動画配信および動画撮影を指定の場所で行う場合には、自宅からの交通費を規定に従い支払う。

- ・その他諸費用

自宅からの動画配信および動画撮影を実施した場合、Web会議費の規定に従い2,000円を支払う。

→承認。その他諸費用について財務部で確認してからの施行

主な意見)

- ・Web会議費の規定について財務部で科目について宮田先生に確認してください。

[学会部]

1. シンポジストについて

テーマ「計測科学を臨床に活かす」

シンポジスト（運動器理学療法）

第1候補：多々良大輔 氏（福岡志恩病院）

第2候補：田上 修士 氏（福岡志恩病院）

第3候補：田中 創 氏（福岡整形外科病院）

前回から第1と2候補を入れ替えた。専門認定を持ってないが、シンポジウムの一番ふさわしい人であると考えた。

→却下

主な意見）

- ・専門認定を持っている会員より選出する方針になっていることを覆すのか。
- ・実績云々ではなく専門認定を優先するという方針だった。ぶれるべきではない。

→この分野の実績がかなりある方なので、学会部および学会長と討論してこのように提案した。

専門認定取得者から候補者を上げていただきたい。

第1候補を田中 創 氏とする。

2. 学会誌のPDF化について

印刷費増加に伴う経費削減のため、今年度より抄録を紙媒体からPDFに移行することとなっていたが、コロナ禍による演題登録数の減少、および上半期の研修会中止を考慮し、今年度まで紙媒体での抄録で進めたいと考える。ご意見頂きたい。

→承認

3. 学会の開催方法について

JPTA より下半期の事業は原則、リモート形式を含んで計画・開催と示されたため、県学会もWeb学会またはハイブリット式学会で進めたいと考えている。(株)コンベンションリンケージさま、および(株)チームスカッター様にWeb学会開催のシステム管理について相談・見積もりを依頼している。開催方法に関してご意見頂きたい。

●学会スケジュール

第1と2会場を人数制限のライブ配信

第3と4会場をオンラインオンデマンド配信

	第1会場 501 (web配信) (420名) → 200名	第2会場 502+503 (web配信) (144名) → 70名	第3会場 web配信	第4会場 web配信
9:00				
9:10	受付			
9:20				
9:30	開会式			
9:40				
9:50	9:50～10:20 大会長講演 玉利 誠 氏 計測科学と理学療法の見点	第1会場サテライト		9:50～10:50 セッション4
10:00				一般口述 (6演題)
10:10				
10:20				
10:30	10:30～12:00 特別講演3 岸本 裕歩 氏 エビデンスに基づく 身体活動の科学	10:30～12:00 教育講演 金子 秀雄 氏 臨床研究のための 文献検索と管理の方法	10:30～12:00 特別講演1 金子 文成 氏 計測科学に基づく 運動障害の病態理解と 理学療法の近未来	11:00～12:00 セッション5
10:40				一般口述 (6演題)
10:50				
11:00				
11:10				
11:20				
11:30				
11:40				
11:50				
12:00				
12:10				
12:20	12:20～13:20 ランチタイムセミナー 遠藤 正英 氏 医工連携のすすめ			
12:30				
12:40				
12:50				
13:00	～リハビリテーションと工学の 融合を実現するために～	13:00～14:00 セッション1 優秀演題セッション (4演題)	13:00～14:30 特別講演2 国中 優治 氏 計測科学に基づく 維持期理学療法の近未来	13:00～14:00 セッション6 一般口述 (6演題)
13:10				
13:20				
13:30	13:30～15:30 シンポジウム 計測科学を臨床に活かす	14:05～15:05 セッション2 Young Investigator Award セッション (4演題)	14:40～16:10 特別講演4 木村 朗 氏 計測科学に基づく 内部障害の病態理解と 理学療法の近未来	14:05～15:05 セッション7 一般口述 (6演題)
13:40				
13:50				
14:00				
14:05				
14:10				
14:20				
14:30				
14:40				
14:50				
15:00				
15:05				
15:10		15:10～16:10 セッション3 Case Report Award セッション (4演題)		15:10～16:10 セッション8 一般口述 (6演題)
15:20				
15:30				
15:40				
15:50	閉会式準備			
16:00				
16:10	表彰式・閉会式			
16:20				

●費用について

昨年の開催費用は250万円

オンデマンド学会：200-210万円

ハイブリット学会：480万円：システム等のスタッフの配置および運営委員が必要なため

→オンラインオンデマンド型で決定とする。修正予算は理事メールで配信する。

詳細については学会部で継続検討。

主な意見

- 国際会議場のキャンセル料はかからないのか。
→確認済で仮予約扱いのため無料である。
- 詳細な増額の明細を示してほしい。増額に対して参加者にどこまで還元ができるのか。費用対効果についての考えを示して頂きたい。
→学会開催に際し、参加者の制限を検討している。例年、無料実施しているので、今後は参加費の徴収も検討している。修正予算を理事メールで提出し、財務及び理事と検討してはどうか？
- ハイブリット型で運営委員の出務を考慮したら、コロナによる感染のリスクがあるため、オンラインオンデマンドで進めてはどうか？
- 人数制限が必要なのか。それはオンラインオンデマンドであってもか。
→機材の問題で自由に参加できると配信の容量への影響が危惧される。前年度の参加人数は伝えているので想定はしてもらえると考える。学会単位を認めるのであれば人数制限をかけないと実行委員が管理できない問題がある。学会単位を認めないのであれば、制限をかけなくてもいいかもしれない。
- 業者に参加者を確認させるような技術を確認してはどうか？

【卒後教育検討委員会】

1. 2020 年度臨床実習指導者講習会開催準備を行っている。日本作業療法士協会はオンラインで行うが、日本理学療法士協会は対面式で執り行ってほしいと回答があった。8 月に行われた組織運営協議会において西浦会長よりオンラインで行いたい旨を伝えて頂いている。また、卒後教育検討委員会（福岡県協議会）を開催し「2020 年度講習会を Web 開催にて実施したい」との結論となった。
 - Web 会議開催について協会へ打診（宇戸友樹学術局長より）
⇒OT 協会が Web 開催にて講習会実施を厚労省より許可を得て実施している旨を報告し、都道府県講習会を Web 開催にて実施可能かを打診。結論として今年度の Web 開催は認めない事を確認。
 - 組織運営協議会にて西浦健蔵会長より Web 開催としたい旨を説明。
 - 日本理学療法士協会事務より全国へ再度、Web 開催は認めないとの連絡メール配信あり。卒前卒中教育検討委員会（福岡県協議会）では、Web 開催を認めて頂けるよう福岡県士会より日本理学療法士協会へ上申して頂きたいと考えている。審議をお願いしたい。

宇戸友樹学術局長より追加説明

「新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨床実習指導者要件の取り扱いに関する要望書」を全国リハビリテーション学校協会、理学療法士協会、作業療法士協会から厚労省に提出し、猶予を申請している。理学療法士協会は Web 開催を認めていないので、臨床実習指導者研修会は現在開催できていない。作業療法士協会の開催している Web 研修会に理学療法士が参加することは可能である。この点について問題ととらえている。

→承認（日本理学療法士協会への要望書提出）

主な意見

- 近日中に新たなオンラインを用いた臨床実習指導者研修会の検討会が開催される予定である。協会は 2021 年 4 月以降にオンラインツールを用いた研修会の進め方を検討されている。質の担保をした上での進行になるので、全く検討しないという方針ではないと思われる。既に作業療法士会のオンライン開催で生じている問題も把握されている。
- 中央講習会は現在中止になっている。都道府県講習会には対面での実施を求められている。
- ノウハウがないと Web 研修は難しいのではないかと。福岡県にはまだそのノウハウは整っていないので、その辺も含めて協会からの指導を求めたい。
→もちろん協会主導なので協会からの許可が必要。要望書を提出して認められなければ、対面での安全の担保を考えたい
- 現状医療従事者は、日常生活でさえ、慎重に行動している。集合研修会についての開催はやめてほしいと考える
- 各県により感染拡大の規模が異なるので、福岡県は対面開催でのリスクが高い。全国統一で実施することは難しい。都道府県ごとの感染状況によって、判断及び選択できるようにお願いしてほしい。
- すでに作業療法士はオンラインで開催できているのに、なぜ理学療法士は出来ないのかという質問はでていると他県からも発言されていた。今日、福岡県はオンラインツールを用いた研修会を進める方針があることを知りえたが、他県ではその情報も持っていないかもしれない。この要望を出す意義は十分にあると考える。

【社会局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

【職能部】

1. 介護業務における介護職員の腰痛予防研修会（福岡県地域医療介護総合確保基金補助金）について
11 月、2 月に継続事業として表記の研修会を開催する予定である。例年はグループワークなどを含めて 6 時間実施しているが、今年度は会場と Web の同時開催（開催時期の新型コロナウイルス感染症の状況により Web のみに変更）で、3 時間の研修会（グループワーク無し）を計画している。開催方法や内容等についてご審議いただきたい。

【研修会の目的】

介護業務からの離職の一因である腰痛を予防するために、理学療法士が介護職員を対象に腰部の過重な負担の軽減を図る研修を実施することにより、介護人材に定着を図ることを目的とする。

【対象】

福岡県内の病院や介護施設、訪問介護事業所の介護職員
病院・施設の安全衛生担当者及び理学療法士
福岡県介護福祉士会の会員

【概要】

- ・開催時期：令和2年11月、令和3年2月
- ・募集人数：各80名（会場とWebの同時配信）
- 講師：一昨年、昨年度のファシリテーターから選出
労働衛生について、予防体操、腰痛予防のための福祉用具（道具）
ノーリフトなどに関する講義、介護ロボットの紹介
- ※開催時期の新型コロナウイルス感染症の拡大具合によって、Webのみの開催に変更する

→承認

主な意見）

- ・県庁からの補助金事業なので、事前に提出した事業内容からの変更の場合は提出を県に確認をとることにする。監査が入ったときに補助金が下りないことが危惧される。
- ・予算の変更もあるか確認していただきたい。
→事業予算を見直した。今年度はファシリテーターを新たに育成しない方針にした。そのため概算では、ほぼ同様の予算で開催できる見込みである
- ・オンラインの機能としてはグループワークがついているので、使ってはどうか。
- ・学術研修部でオンラインを用いたグループワークを実施してみた。練習は必要だが、機能としては使用できる。
→6時間の研修会から時間を短縮する意向があった。グループワークについては再検討する。
- ・ノーリフティングの福岡県でモデル事業が始まっている。福岡県からの内容についての指導や依頼事項はあったか。県全体の方針の変更があるかもしれないので確認していただきたい。
→現状ではそのような依頼はない。すり合わせが必要か相談する。

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 追加事業の提案：理学療法の認知度に関するアンケート調査について
これまで体力測定会など啓発活動を行ってきたが、目的や結果が不明確である。より効果的に意義のある啓発活動を行うために理学療法士の認知度に関する調査を企画した。
理学療法士の認知度に関する調査案についてご審議いただきたい。

→継続審議

主な意見）

- ・来年度の新規事業として提案してはどうか。修正予算を提出している間に下半期が終わる可能性はある
- ・社会局としての調査なのか、県士会としての調査なのか
- ・コロナの現状を踏まえると、来年度も集客しての開催が難しい。今後の公益のやり方の再検討という思いから、ぜひ社会局で実施したい
- ・毎年実施する意義はない。4年に一度などで、趣向を変えて開催してはどうか。年間80万円だが、予算も4年に一度という形で計上してはどうか。
- ・福岡県内で実施する意義はどうか。全国的に調査をされているのではないかと。
→全国で報告はある。理学療法士会のイベントで実施している報告で質の担保に不安がある、また他県の結果を福岡県に置き換えられるかどうか不明である。対象者を明確にする意味から福岡県で実施する意義はある。
- ・マーケティング会社に依頼すれば8地区網羅できるのか
→そのとおりである

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

[職能部]

1. 令和元年度減点査定調査について

平成30年度減点査定調査ホームページ掲載内容についてご審議いただきたい。

→承認

【追加審議】

【松崎副会長】

1. 福岡県獣医師会主催の「ワンヘルス国際フォーラム」が福岡県で開催される。福岡県理学療法士会の参加を打診された。県士会として参加したいと考えている。

ワンヘルスの理念：動物と人および環境は相互に繋がっており、関係する学術分野が“ひとつの健康”の概念を共有して問題解決に当たるべきとの考え方

企画目的：ワンヘルスを医療関係者に理解して頂き、普及を図る

各利用関係者から県営筑後広域公園の活用や課題などの意見を伺い今後のワンヘルスの推進に活かす
専門領域を超えた相互の連携を図る

企画内容：令和2年10月25日（日）

バスツアー、国際フォーラムの開催と出席

→承認：社会局に協力要請する

主な意見）

・共催後援ではどのような形になるのか。費用の負担はあるのか。

→具体的な内容は示されていないが、おそらく後援、費用の負担はないかと理解している

【報告事項】

【会長】

県士会事務所に8月より新入社員の就職が決定した。

永友沙也佳 氏（理学療法士）

【法人事業】

1. 令和2年度 組織運営協議会

日 時：令和2年8月1日（土）

場 所：Web 会議

内 容：組織運営協議会

出務者：1名（会長）

下記の組織改正案が提案された

1. 都道府県理学療法士会と本会の関係性を明確化する
2. 本会理事の在り方について
3. 安定的な組織体制とは

【事務局】

【法人事業】

I. 事業

1. 後援名義一覧（別紙：事務局1）

II. 関係会議

1. 第4回三役局長会議

日 時：令和2年6月5日（金）19：00～21：00

場 所：Web 会議

出務者：8 名

2. 第5 回三役局長会議

日 時：令和2 年6 月8 日（月）19：00～21：00

場 所：Web 会議

出務者：9 名

3. 第1 回福岡県理学療法士会・作業療法協会・言語聴覚士会 連絡協議会

日 時：令和2 年7 月14 日（火）19：30～21：30

場 所：Web 会議

内 容：事業報告および事業計画

1）地域医療介護総合確保基金にかかる補助事業

2）福岡県訪問リハビリテーション実務者研修会

介護予防事業への対応

1）新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による各士会活動への影響と対応方法について

2）地域ケア会議出席者の服装や態度について

災害対策

その他

出務者：PT；4 名（会長、副会長3 名）、OT：6 名、ST：7 名

【総務局】

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[組織部]

1. アプリ「福岡理学ナビ」

登録者数 818 名（令和2 年8 月7 日現在）

618 名（令和2 年6 月5 日現在）

2. LINE

登録者数 399 名（令和2 年8 月7 日現在）

396 名（令和2 年6 月5 日現在）

【その他事業 会員の福利厚生に関する事業】

1. 福岡県理学療法士会会員の離職とメンタルヘルスの関連についての調査報告

この報告書は理事に確認していただき意見を頂戴したうえで、今後 HP に掲載していく予定

【法人事業】

I. 事業

[総務部]

1. 理事会資料・議事録の記載について

福岡県から議事録上での参加者氏名の記載をフルネームでと指摘を受けています。

今後事業・会議などの参加者に関しては人数のみの記載をする方針で対応します。

資料作成時に人数のみの記載をお願いします。

2. 新人オリエンテーション動画作成の進捗状況

今年度版のスライドを各局にて作成していただき Power point にて動画作成を企画しています。現在は日程調整および動画作成段階で9 月中に配信できるよう進めていきます。

3. 新型コロナウイルスアンケート（第2 回）について

先月末で各局からご意見を伺い総務部内で検討しております。

1）組織部から WLB 部に関するアンケート

2）学術局関係および就業環境・待遇に関するアンケート

の2 本立てで計画しております。1）に関しては作成中、9 月末を締め切りとして先に HP 上へ掲載する予定で

す。2)に関しては作成次第掲載予定(9月中目処)。

[災害対策部]

1. 令和2年7月豪雨災害の対応について

8月18日現在
豪雨災害に対する福岡県理学療法士会対応・経過報告

福岡県理学療法士会
総務部:平原 寛隆

日時	時間	内容
R2.7.4		九州南部豪雨により熊本県災害発生
	12:30	JRAT九州ブロック会議開催(Web):情報交換を行う
R2.7.6		九州北部豪雨の影響により筑後、筑豊地域を中心に床下浸水、冠水が発生。 大雨特別警報が発表。
R2.7.7	15:00 19:00	平原よりJRAT九州ブロック会議内容を執行部へ情報共有。 福岡JRATの始動に向けて情報交換を行う(福岡JRAT赤津氏、平原)
		会員・施設の被害状況についてFAX配信、HP掲載の準備を行う。
R2.7.8	15:00	福岡県福祉総務課より情報提供 災害救助法適用4市の避難所の状況(避難者数) ・大牟田市:32カ所(137名) ・久留米市:47カ所(674名) ・八女市:1カ所(1名) ・みやま市:0
R2.7.9		会員・各施設へ被害状況調査開始。
R2.7.10		会長より 災害対策については総務部災害対策部で対応する。 本部設置については今後のJRATの動向も踏まえ福岡OT協会・ST士会と協議していく。 福岡JRATの要請なく、まずは情報収集を行う(福岡JRAT赤津氏)
R2.7.13		福岡県福祉総務課より情報提供(7/10現在) 4市の避難所の状況(避難者数) ・大牟田市:28カ所(32名) ・久留米市:13カ所(55名) ・八女市:1カ所(2名) ・みやま市:1カ所(1名) ※大牟田市および久留米市については、浸水被害により帰宅困難者が一定数いる。 来週以降も避難所が継続する見込み。 帰宅困難者数や来週以降の避難所開設期間などは不明。 両市共に現時点では保健師の巡回で対応できている。
R2.7.15		福岡県福祉総務課より情報提供 ・大牟田市以外に帰宅可能。大牟田市ではホテル未避難所として開設
R2.7.16		会員・施設被害報告:15件
R2.7.30		会員・施設被害報告:1件
R2.8.4		災害時派遣登録者へメールにて状況説明を行う。
R2.8.11		被災会員へ協会見舞金・会費免除に関する資料を送付。
R2.8.17		会員・施設被害報告:1件 <集約:8/17時点> ・報告施設数:17件 (人的被害:8施設、所属施設被害:6施設、リハビリ部門への影響:13件、避難所利用:4件)

[財務部]

1. 令和2年4月1日～7月16日までの予算の収支

令和2年度予算別表G収支予算内訳書(～8月16日実績版)について説明

上半期の事業中止に伴い、残金が出ている状況である。

下半期の予算管理のため、修正予算の提出をお願いしたいと考えている。

主な意見)

- ・財務部から修正予算の再提出を期間に余裕をもたせて依頼する。
- ・各局、来年度予算及び事業計画を練る時期がきた。来年度の方針を対面および非対面など提示してほしい。
→今後の方針は3役員長会議で決定する

2. 事務所会計監査

日 時: 令和2年7月16日(木) 11:30～12:00

場 所: 公) 福岡県理学療法士会事務所

出席者: 3名

II. 関係会議

1. 第2回総務部会議

日 時: 令和2年6月4日(木) 19:00～21:00

場 所: Web 会議

- 内 容：1) 第2回理事会への議案・運営について
2) 令和2年度代議員総会の運営について
3) 新型コロナウイルス感染症緊急アンケートの結果報告

出務者：5名

2. 第1回代議員総会事前打ち合わせ会議

日 時：令和2年6月11日（木）19：00～20：30

場 所：Web 会議

- 内 容：1) 代議員総会の流れの確認・時間配分
2) 議長・司会原稿の確認
3) 事前動作確認について

出務者：8名

3. 第2回代議員総会事前打ち合わせ会議

日 時：令和2年6月18日（木）19：00～20：30

場 所：Web 会議

- 内 容：1) 代議員総会の流れの確認
2) Web システムの事前動作確認について

出務者：3名

4. 第3回代議員総会事前打ち合わせ会議

日 時：令和2年6月25日（木）19：00～20：30

場 所：Web 会議

- 内 容：1) Web システムの事前動作確認（代議員対象）

出務者：2名

【学術局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[学術局]

1. オンライン研修会について

2020年度事業でオンラインにより実施可能な研修会の調査を各部局へお願いしています。

開催方法については、オンデマンド型（B-2）を中心にライブ型でのオンライン研修会を開催したいと考えています。
年内に10件を目標に準備したいと考えています。

新プロ単位はe-learningによる受講も可能となっていますが、C単位取得（60分講義）可能研修会として実施いたします。

[学会部]

1. 講師および講演テーマについて

<特別講演3>

テーマ「計測科学に基づく介護予防の近未来」

講師：岸本 裕歩 先生（九州大学基幹教育院 准教授）

テーマ「エビデンスに基づく身体活動の科学」

<特別講演4>

テーマ「計測科学に基づく内部障害の病態理解と理学療法の近未来」

講師：木村 朗 氏（群馬パース大学保健科学部理学療法学科 教授）

<ランチタイムセミナー>

テーマ「医工連携のすすめ～リハビリテーションと工学の融合を実現するために～」

講師：遠藤 正英 氏（桜十字福岡病院リハビリテーション部 科長）

*専門理学療法士（生活環境支援）

<シンポジウム>

テーマ「計測科学を臨床に活かす」

1) 神経理学療法

シンポジスト：田邊 紗織 氏（誠愛リハビリテーション病院）

*専門理学療法士（神経）

2) 内部障害理学療法

シンポジスト：入江 将考 氏（新小倉病院）

＊専門理学療法士（内部障害）

[学術誌編集部]

1. 理学療法福岡 34 号進捗状況

1) 巻頭言：松崎 哲治 氏（副会長）

2) 特集テーマ：職域拡大

テーマ「学校現場における理学療法士の関わり（仮）」

執筆者：村上 武史 氏（産業医科大学病院）

テーマ「ウィメンズヘルス・メンズヘルス（仮）」

執筆者：橋本 優子 氏（桜十字福岡病院）

テーマ「リハ専門職と行政の協働（仮）」

執筆者：久保かおり 氏（北九州市保健福祉局地域リハビリテーション推進課）

3) 講演録：

第 102 回福岡県理学療法士会学術研修大会

テーマ：「変形性膝関節症に対する治療戦略」

執筆者：山田 英司 氏（本山学園岡山専門職大学）

テーマ：「理学療法士にとって必要な呼吸障害の見方」

執筆者：石川 朗 氏（神戸大学大学院）

テーマ：「理学療法研究のデザイン」

執筆者：対馬 栄輝 氏（弘前大学大学院）

第 29 回福岡県理学療法士学会

テーマ：「理学療法士なら関節の動きを 3D で理解しよう

～最適な訓練は理解することで可能となる～」

執筆者：菅本 一臣 先生（大阪大学大学院）

テーマ：「急性期脳卒中患者に対する理学療法

～急性期から行う、予防的視点に根差した取り組みのエビデンスと実際～」

執筆者：野添 匡史 氏（甲南女子大学）

テーマ：「機能回復・ADL 向上とリハビリテーション栄養

～理学療法士に重要な栄養ケアの視点～」

執筆者：西岡 心大 先生（長崎リハビリテーション病院 法人本部人材開発部副部長
栄養管理室室長）

4) 教育講座

テーマ：症例報告のポイント

執筆者：白土 健吾 氏（飯塚病院）

5) 県学会受賞論文

第 29 回県学会 最優秀賞

演題名：「地域在住高齢者の転倒に影響を及ぼす要因の検討」

執筆者：脇坂 成重 氏（桜十字福岡病院）

第 29 回県学会 Case Report Award

演題名：「がん悪液質を呈する肺癌患者にリハビリテーション栄養ケアプロセスを
実践した 1 症例」

執筆者：白土 健吾 氏（飯塚病院）

6) 研究助成報告

テーマ：「変形性膝関節症患者の大腿四頭筋筋力増強運動における神経筋電気刺激併用
の即時効果」

執筆者：村上 武史 氏（産業医科大学病院）

7) 一般投稿論文

4 論文受理済み 査読中 1 論文

8) 編集後記：未定

[学術研修部]

1. 令和2年度管理者研修会について

管理職研修会は新型コロナウイルス感染対策の影響に伴い今年度はオンラインでの研修会の実施を検討しています。

<開催日時>

令和2年10月開催予定 14:00～16:00 (受付13:30～)

<内 容>

第1部：例 事例報告（講師は理事で実施）（15分×3名）14:00～14:45（45分）

①急性期病院リハビリテーション部門における新型コロナウイルス対応（課題と対策）

講師候補：岩佐 聖彦 氏、久原 聡志 氏

②回復期リハビリテーション病棟における新型コロナウイルス対応

講師候補：遠藤 正英 氏、今村 純平 氏

③生活期における新型コロナウイルス対応（在宅、施設、通所リハビリテーション）

講師候補：福田 輝和 氏、志田啓太郎 氏

第2部：グループワーク（ZOOMでのグループワーク）14:45～15:15（30分）

テーマ「新型コロナウイルス対応におけるリハビリテーション部門の課題と
ウィズコロナの時代の新しい理学療法士の働き方」

第3部：まとめ

グループごとの発表：第2部で検討した内容について発表を行う。

<開催方法>

ZOOMを利用したオンライン研修

役割：オンラインセミナーを進行する司会者（1名）が全体の進行を管理する。

講師は、自宅より参加する予定である。

2. 第103回福岡県理学療法士会学術研修大会について

1) 開催日時と会場借用について

現時点では、コロナウイルスの影響によって国の方針で収容人数の半分で開催するように会場側から指示を受けています。現地とオンラインを組み合わせたハイブリッド研修大会の開催も視野に入れて会場を借用するかどうかを検討している。

日 時：2021年8月8日（日）もしくは22日（日）

10:00～16:30（受付9:00～）

借用にあたっての注意事項（キャンセル料と人数制限）

・8日の場合は、アクロス福岡は仮予約しており、令和2年8月22日からキャンセル料が発生します。

・22日の場合は、福岡国際会議場を仮予約しています。

2) 学術研修大会の講師候補及び司会者候補について

令和2年度に開催予定であった内容を来年度実施方向で準備したい。

なお、ハンズオンセミナーに関しては、企業が講師の謝金や交通費を支払う予定で運営を進めていたが、賛同していただける企業が7つの企業中1つの企業のみであった。そのため、ハンズオンセミナーの講師に関しても謝金や交通費を予算について再検討し審議をお願いする予定である。

※学会同様にWebシステムを活用して実施する可能性もあり、今後、日程やスケジュールも含め再検討する予定である。

II. 関係会議

[学術局]

1. 第2回学術局Web会議

日 時：令和2年6月1日（月）19:30～21:00

場 所：各自Web環境設定

内 容：1) 三役局長会議内容共有

2) オンライン研修会開催について

3) その他

出務者：9名

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 理学療法週間について
理学療法週間事業について報告・説明

II. 関係会議

[社会局]

1. 第3回社会局Web会議
日 時：令和2年7月10日（金）19：00～20：30
内 容：社会局下半期事業および体力測定会評価指標について
出務者：17名

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

II. 関係会議

[社会局]

1. 第3回社会局Web会議
日 時：令和2年7月10日（金）19：00～20：30
内 容：社会局下半期事業および体力測定会評価指標について
出務者：17名

[公益事業推進部]

1. 第1回公益事業推進部Web会議
日 時：令和2年7月20日（月）19：00～21：00
内 容：公益事業推進部下半期事業について
出務者：14名

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

II. 関係会議

[社会局]

1. 第3回社会局Web会議
日 時：令和2年7月10日（金）19：00～20：30
内 容：社会局下半期事業および体力測定会評価指標について
出務者：17名

[公益事業推進部]

1. 第1回公益事業推進部Web会議
日 時：令和2年7月20日（月）19：00～21：00
内 容：公益事業推進部下半期事業について
出務者：14名

【支部局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[福岡支部]

1. 第4回福岡支部研修会
日 時：令和2年6月27日（土）9：30～12：30
場 所：未定
内 容：「脳卒中患者における治療用・更生用装具の考え方～作成からフォローアップを中心に～」
講 師：田代 耕一 氏（桜十字福岡病院）
※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

2. 第3回福岡支部研修会（福岡支部合同症例報告会）

日 時：令和2年6月28日（日）13：00～17：30

場 所：桜十字福岡病院

内 容：「福岡支部合同症例報告会」

「リスク管理とその知識を活かした治療（内部障害）」

講演1：「内部障害患者に対するリスク管理とその知識を活かした治療」

講演2：「脳卒中患者に対するリスク管理とその知識を活かした治療展開」

講師1：野元 大 氏（済生会福岡総合病院）

講師2：吉村 恵三 氏（九州中央病院）

※新型コロナウイルス対応のため中止

[北九州支部]

1. 第4回北九州支部研修会

※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

[北九州1地区]

1. 第2回北九州1地区研修会

※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

[北九州2地区]

1. 第2回北九州2地区研修会

※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

[筑豊地区]

1. 第2回筑豊地区研修会

※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

[筑後支部]

1. 第3回筑後支部研修会

日 時：令和2年6月13日（土）15：00～18：00

場 所：筑後市立病院

テーマ：「環境と支援工学の視点から考える理学療法～電気刺激機器・バランス機器を中心に～」

講 師：高野 吉朗 氏（国際医療福祉大学）

※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

2. 第4回筑後支部研修会

日 時：令和2年7月4日（土）14：00～17：00

場 所：久留米大学医療センター

テーマ：「脳卒中片麻痺者の歩行について」

講 師：植野 拓 氏、川崎 亘 氏（千鳥橋病院）

※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

[筑後1地区]

1. 第2回筑後1地区研修会

日 時：令和2年7月10日（金）19：00～20：30

場 所：専門学校 久留米リハビリテーション学院

テーマ：「症例報告会」

※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

[筑後2地区]

1. 第1回筑後2地区研修会

日 時：令和2年6月12日（金）19：00～20：30

場 所：国際医療福祉大学福岡保健医療学部

テーマ：「症例報告会」

※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

2. 第2回筑後2地区研修会

日 時：令和2年7月7日（火）19：00～20：30

場 所：柳川リハビリテーション病院

テーマ：「小児理学療法士の視点から見た背臥位の評価と治療実践～背臥位から何を読み取るか～」

講 師：吉野 賢一 氏、菊次 幸平 氏（柳川療育センター）

※新型コロナウイルス感染拡大への対応のため中止

【法人事業】

Ⅱ. 関係会議

1. 第1回支部局会議

日 時：令和2年7月30日（木）20：00～21：15

場 所：Web 会議

内 容：1）半期の事業について（対面式事業開催）

2）2月の学会について

3）都道府県臨床実習指導者講習会について

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

Ⅱ. 関係会議

【地域包括ケア推進局】

1. 2020年度訪問リハビリテーション従事者研修会 第1回事前会議

日 時：令和2年7月27日（月）19：00～20：30

場 所：Web 会議

内 容：2020年度訪問リハビリテーション従事者研修会について

出務者：3名、他作業療法士2名、言語聴覚士3名

2. 2020年度第2回地域包括ケア推進局会議

日 時：令和2年8月3日（月）19：00～21：00

場 所：Web 会議

内 容：1）訪問リハビリテーション従事者研修会について

2）地域ケア会議推進リーダー導入研修会・介護予防推進リーダー導入研修会

3）各市区町村の現状把握報告・各市区町村実務担当者見直し
・各市区町村への「地域ケア会議」「介護予防」事業戦略

4）地域医療介護総合確保基金 → 今年度担当 ST

5）地域ケア会議出席の理学療法士に対する理学療法士の派遣事業

6）地域ケア会議推進リーダー・介護予防推進リーダー管理

7）福岡県地域ケア会議ドバイザー派遣事業

8）各市区町村理学療法士派遣事業

9）市町村アンケート

10）講義資料作成分担

出務者：20名

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

Ⅱ. 関係会議

【地域包括ケア推進局】

1. 地域包括ケア推進局福岡市介護予防事業対応 Web 会議

日 時：令和2年6月19日（金）19：00～20：00

場 所：Web 会議

内 容：福岡市介護予防事業に対する今後の対応および今後の方針について

出務者：4名

2. 各市区町村委託事業 各種報告書・請求書等 調整整理

日 時：令和2年7月1日（水）10：00～11：00
場 所：福岡県理学療法士会事務所
内 容：各市町村委託事業 各種報告書・請求書等 調整整理
出務者：1名

【各委員会】

【選挙管理委員会】

1. 2021 年度役員選挙スケジュールについて
2020/11/26 選挙人名簿作成
11/27 はがき発送依頼
12/1 広報誌で選挙があることを掲載
12/16 告示日
12/30 立候補 受付開始
2021/1/13 立候補 受付終了
1/17 選挙公報（立候補者一覧） 作成・発行
2/10 投票開始
2/24 投票 締切・開票
上記の予定で進める方針である
→承認

主な意見)

10 月の理事会で選挙に関する要綱を提示してほしい

【依頼事項】

【総務局】

[総務部]

1. 県士会データ取扱規程について

前回の理事会で草案を提示させていただいた結果、オーサーシップについてご意見をいただきました。オーサーシップに関してはデータ取り扱い規定の範疇でないと考えております。しかし、現在の情勢の中でオーサーシップに関しては重要な事項と考えますので、全国学会演題エントリー規定においてオーサーシップ関しての内容も含めエントリーシートなどに追記するなど学術局内で再度検討していただければと愚考しております。総務部として、下記の基準でのオーサーシップを提案いたします。また、研究テーマの優先権、および権利の消失の追記も提案いたしております。ご一考いただきたくお願い致します。

●著者資格

学雑誌編集者国際委員会（ICMJE）の勧告に基づき4基準を満たすことを条件とする

1. 研究の構想またはデザイン、あるいは研究データの取得、解析、または解釈に実質的に貢献した
2. 論文を起草したか、または重要な知的内容に付いて批評的な推敲を行った
3. 出版原稿の最終確認を行った
4. 研究のあらゆる部分について調査され、解決されることを保障し、研究の全ての側面に対して説明責任を負うことに同意した

●著者の決定について

ICMJE の基準を満たした上で下記の条件に見合うものとする。著者の選出理由について貢献度を詳細に説明した書類を理事会に提出し承認を得たうえで決定する。

1. 筆頭著者：論文または学会発表者
2. 共著者：
 - 1) オーサーシップを満たし、構想と計画、データの収集、データの分析および解釈に対する実質的な貢献、論文の起草、統計解析の再現性、その内容に対する有意義な改訂などの明確な理由を提出し選出する。

- 2) 使用されたデータの該当局長はそのデータ管理を担当したデータ責任者から1名以上研究の査読などを行うオーサー選出し、任命する。任命されたオーサーは研究の査読などに関わる。
- 3) オーサーシップを満たさない者や上司などのギフトオーサーは認めない。研究と投稿過程に実質的に寄与していない名誉著者やゲストオーサーも認めない。
3. 責任著者：筆頭著者および共著者で協議の上、選出する。最終的な承認は理事会とする。

●研究テーマの優先権

1. 研究テーマが重複した場合は、先に理事会で承認された者を優先とする。同時にデータ利用申請が出された場合は、研究計画書および倫理委員会申請書を確認した上で、理事会が優先権を決定する。
2. 県士会のデータの利用頻度は、1会員につき1年に1テーマを原則とする。

●データ利用権利の消失

申請されたテーマが申請後1年経過しても、発表および雑誌への投稿に至らなかった場合は、そのテーマに関する解析および執筆する権利は消失する。

→学術局で検討

【確認事項】

【地域包括ケア推進局】

[地域包括ケア推進局]

1. 訪問リハビリテーション従事者研修会について

今年度は福岡県理学療法士会が担当である。例年10時間以上の対面だったが、今年度は5時間程度のオンラインで開催予定である。既に財団には許可を取っている。講師は現在選定中である。

2. 地域ケア会議推進リーダー導入研修会・介護予防推進リーダー導入研修会について
オンラインで開催予定である

まとめ) 来年の事業計画を各局が立てやすいように来年度の方針を3役局長会議で決定し、理事に報告する

次回理事会：

日 時：令和2年10月24日（土）15：00～

場 所：Web 開催

以上この議事録の内容が正確であることを証明するため、出席した会長、監事は、次の通り署名する。

令和2年8月22日

公益社団法人 福岡県理学療法士会